

会 議 録

会議の名称	第18期東村山市社会教育委員会議（第11回）				
開催日時	平成22年6月25日（金）午後7時00分～9時00分				
開催場所	東村山市役所いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者 及び欠席者	<p>出席者：</p> <p>（委員）神谷・桑原・小林・小山・島崎・土田・當間・吉井・吉満 敬称略</p> <p>（市事務局）社会教育課長 神山・生涯学習係主任 野沢・生涯学習係主事 野崎</p> <p>欠席者：（委員）森 敬称略</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	1名
会議次第	<p>1．あいさつ</p> <p>2．報告事項</p> <p>（1）平成22年度全国社会教育委員連合表彰者の推薦について</p> <p>（2）平成22年度東村山市教育委員会の教育目標及び基本方針について</p> <p>（3）青少年問題協議会について</p> <p>3．協議事項</p> <p>（1）第4次総合計画について</p> <p>（2）今期研究テーマの調査内容について</p> <p>（3）家庭の日について</p> <p>4．その他</p> <p>（1）第13回会議日程について</p> <p>（2）東京都市町村社会教育連絡協議会第4ブロック研修会の打合せ会議について</p> <p>（3）東京都市町村社会教育連絡協議会理事会について</p> <p>（4）第41回関東甲信越静社会教育研究大会（東京大会）の開催について</p>				
問い合わせ先	<p>教育部社会教育課生涯学習係</p> <p>担当者名 神山・野沢・野崎</p> <p>電話番号 042-393-5111（内線3513）</p> <p>ファックス番号 042-397-5431</p>				
会 議 経 過					
<p>1．あいさつ</p> <p>議長</p> <p>前回会議で協議したことをたたき台にして研究テーマの調査内容を具体化していきたい。</p>					

課長

7月中には研究テーマを集約していきたい。また、第4次総合計画についてのご意見も本会議で伺いたい。

2. 報告事項

(1) 平成22年度全国社会教育委員連合表彰者の推薦について

事務局

全国社会教育委員連合より表彰者推薦の依頼があった。表彰規程施行細則第2条により、社会教育委員は7年以上の在任者が推薦の基準となる。本市社会教育委員より、在任期間8年8ヶ月の1名が該当するので、推薦する。

(2) 平成22年度東村山市教育委員会の教育目標及び基本方針について 課長より骨子を説明

(3) 青少年問題協議会について

A委員（協議会に出席）

あいさつ運動について

小学生にあいさつ運動が浸透していないように見受けられるので、あいさつを形から教えなくてはいけないという意見があった。

青少年善行表彰について

近年、表彰対象者の活動分野が偏っているため、分野の幅を広げて推薦を呼びかけるようにする。

中学生の主張大会について

今年度より市立中学校だけでなく市内の私立中学校にも作品募集の案内をする。近年、マンガ風のイラストが絵画部門に多く出品されているので、見直しが必要である。

家庭の日について

ティッシュペーパー等を配布してPRしているが、イベントを開くなどしてもっと広く宣伝したほうがよい。保護者にも広めるため、もっと意義のあるものにするべきである。機会があれば本会議でも協議していきたいと思う。

3. 協議事項

(1) 第4次総合計画について

議長

今後、行われる第4次総合計画のヒアリングに向けて、本会議で出された意見も反映していきたいと思う。

B委員

スポーツ分野についての言及が少ないと思う。本市はスポーツ都市宣言をしているのだから、もっとスポーツのことを前面に出すべきではないか。

議長

スポーツに関する項目だけでも俎上にのせるべきである。さもないと実施につながらないと思う。

(2) 今期研究テーマの調査内容について

議長

社会教育事業を実践している各種団体に送付する調査協力依頼文および調査票(アンケート)の素案を事前に各委員にメールで送付し、各自で加筆修正箇所等を考えていただいた。ここで各委員よりご意見をいただき、最終校正を行う。

依頼文の校正

各委員の意見を基に加筆修正。

社会教育事業実態調査票(アンケート)の校正

C委員

1つの団体が実践している全ての事業について調査するのは困難だと思う。調査の対象を課題のある事業に絞ってよいのではないか。

議長

調査対象事業は、1団体につき3事業を目安としたい。

調査対象団体のリストアップ

D委員

自治会についてはどのようにして対象を選ぶか。会によって規模が大分異なっている。

議長

各町より1団体ずつ無作為抽出でよいのではないか。

出席委員より了承される。

議長

調査票は概ね7月1日までに各種団体に発送し、7月16日までに回答をいただくことにする。回答をもとに研究テーマをどのように組み立てていったらよいか。

A委員

社会教育の現状と課題を知るのにアンケートは有効な手段である。結果からテーマを導き出すべきである。

B委員

総合計画を見ると「求められている」という項目が多い。それらを具現化するためにどうしたらよいか、社会教育委員が課題を把握した上で手助けできることを考えるのが解決のための第一歩になると思う。

E委員

社会貢献、市民協働ができるための社会教育を考えるべきである。

議長

研究テーマに関するキーワードを次回会議までに各自で考えていただきたい。

(3) 家庭の日について

議長

家庭の日と何か象徴的なものとを結び付けなければ浸透しないのではないか。

F委員

「家庭の日」が抽象的なのではないか。もっと形の見える具体的なものにするべきである。

G委員

「家庭の日」は毎月第2日曜日に制定されているが、月1回でも子どものことを考える姿勢は必要である。

H委員

社会教育の基本は家庭教育である。家庭教育を見直すためにも、今後、本会議で協議していく必要があると思う。

4．その他

(1) 使用料等審議会(任期：平成22年8月7日～平成24年8月6日)委員の委嘱について

本会議より吉井委員を推薦する。

(2) 第13回会議日程について

第12回会議 平成22年8月26日(金)午後7時～ 教育委員会室
全委員の承認により上記日程で開催することが決定

5．閉会